

伴野豊の絆レポート NO.37



伴野豊の活動報告

みなさん！こんにちは、伴野豊です。

台風 18 号、19 号と立て続けに大きな台風が日本列島を駆け抜けておりますが、いかがお過ごしですか。なんらかの被害を被られた方には心からお見舞いを申し上げます。

台風に限らず昨今の雨の降り方、量もさることながらその局地性と強度には今までとは違う対策が求められている気がしてなりません。そうした中、公共交通機関の運休のあり方に新しい試みが見られます。何れにしても被害を最小にする試み、工夫に際限はありません。英知を結集してもらいたいものです。

さて、国会ですが、そろそろ安倍内閣の本性が出来たようです。

予算委員会をはじめ各委員会での熟議に期待したいところです。



伴野豊の気になる政策

毎年この秋の時期は、政策を試みた目に見える一つの結果としての各種イベント、表彰、キャンペーンが目白押しですが、中でも気になるものをピックアップしてみました。

○都市緑化キャンペーンの開催（10月10日）

東京都千代田区の有楽町駅前広場で都市緑化キャンペーンが開催され、第 32 回全国都市緑化あいちフェアの紹介が行われました。フェアPR隊の「あいち戦国姫隊」の市（いち）さんも登場しました。都市緑化キャンペーンとは、都市緑化月間（10月）に際し、都市公園等の公的な緑地の整備とあわせて、地域住民や諸団体の積極的な参加と協力による民有地の緑化を推進し、都市における緑豊かな生活環境を実現することを目的として実施するものです。

○平成 26 年度「優秀施工者国土交通大臣顕彰」の受賞者決定及び顕彰式典の開催（10月10日）

優秀な技術・技能を持ち、後進の指導・育成等に多大な貢献をした建設マスターとして、389名の方々が顕彰されました。地元知多半島関係では半田市の瀧上工業（株）の大園裕治（おおぞのゆうじ）さんが鋼構造物工の職種で受賞されたようです。

○「鉄道の日」実行委員会による第 13 回「日本鉄道賞」の受賞者の決定（10月1日）

「日本鉄道賞」は、「鉄道の日」創設の趣旨である鉄道に対する国民の理解と関心を深め、国民の強力な支持を得るとともに、鉄道の一層の発展を期することを目的として、平成 14 年に創設された表彰制度です。「鉄道の日」実行委員会の日本鉄道賞表彰選考委員会による選考の結果、東海旅客鉄道(株)が「東海道新幹線の 50 年～「進化」へのたゆまぬ努力と着実な実績～」として大賞を受賞しました。

伴野豊の気になる本

今回の伴野豊の気になる本は、増田寛也編著「地方消滅」です。「このままでは 896 の自治体が消滅しかねない」なかなか衝撃的な物言いです。減少を続ける若年人口の予測から導き出された衝撃のデータに基づく提言です。子育て環境の悪い東京圏へ若者たちが移動し続けた結果、日本は次第に人口減少社会に突入しました。多くの地方では高齢者すら減り始め、大都市では高齢者が激増しています。

地方に人々がとどまり、希望通りに子どもを産み育てる社会へ。その戦略を考えるキッカケとなる本書。

2040 年において若年女性人口の減少率が五割を超えると推計される「消滅可能性都市」。あくまでもこれまでの傾向が続けばの話ではあるが、統計分析上、その精度はかなり高いようです。

若年女性をその街にとどまらせることが出来るか否か。まずはここが最初のポイントのようです。そしてその女性が希望通りに子どもを産み育てる環境を整えるにあたり、それを阻害する要因を少しでも排除することが出来るか否か、それが次なるポイント。

政策的に何が出来るか。良い傾向にある市町村をまず研究し、取り入れられるところから取り入れて行く。一朝一夕ではかなりの難しい課題ではありますが、しかし、やれるところから効果的に数値目標を定めてやって行かなければ、人口減少に拍車がかかるばかりです。

「まずはそこに住む人々が現状を知り、問題意識を持つことがはじめの一步」と著者は警鐘を鳴らします。どなたもどの街も他人事ではられません。皆さんのお仕事にも大いに関係あります。必読の書であること間違いない。

中公新書(定価：本体 820 円＋税別)

ば ばんの豊フェイスブックページ

検索 🔍

伴野豊事務所 半田市青山 2-19-8

TEL : 0569-25-1888

FAX : 0569-25-1881

HP : bannoyutaka.jp

衆議院愛知第 8 選挙区：半田市・常滑市・東海市・知多市・

阿久比町・東浦町・南知多町・美浜町・武豊町

